

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑥ 実用新案出願公開

## ④ 公開実用新案公報(U) 平2-59660

⑦ Int. Cl.<sup>7</sup>A 47 F 5/09  
5/00

識別記号

B  
D  
C

庁内整理番号

6850-3B  
6850-3B  
6850-3B

⑧ 公開 平成2年(1990)5月1日

審査請求 有 請求項の数 1 (全3頁)

⑨ 考案の名称 陳列壁体

⑩ 実 願 昭63-139853

⑪ 出 願 昭63(1989)10月25日

⑫ 考 案 者 百 瀬 和 義 愛知県安城市北山崎町築地1番地 日本アルミニウム建材株式会社内

⑬ 出 願 人 日本アルミニウム工業株式会社 大阪府大阪市淀川区三國本町3丁目9番39号

⑭ 出 願 人 日本アルミニウム建材株式会社 愛知県安城市北山崎町築地1番地

⑮ 代 理 人 弁理士 西教 圭一郎

## ⑯ 実用新案登録請求の範囲

本体に、商品等の物品を保持する保持体を係止する陳列壁体において、

前記本体は、

後面壁部から連結部が前面壁部の上下方向の途中位置に連なり、これによつて後面壁部と連結部と前面壁部は、下方に開口した溝を形成し、

前記保持体は、

前面壁部に前記溝内で当接する当接部と、この当接部から後方にかつ下方に連なり後面壁部に当接して係止する係止部と、係止部から前方にかつ下方に連なり商品等の物品を保持する保持部とを有することを特徴とする陳列壁体。

## ⑰ 図面の簡単な説明

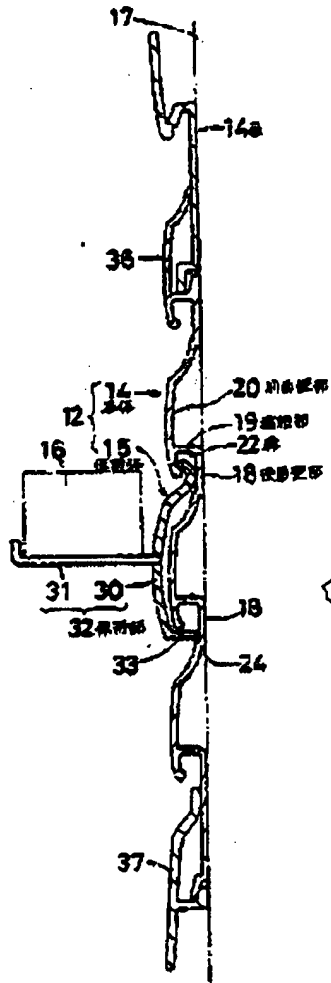
第1図は本考案の一実施例の断面図、第2図は第1図に示される実施例の一部の拡大断面図、第

3図は保持体15の斜視図、第4図は本考案の他の実施例の保持体40を示す断面図、第5図は第4図に示される保持体40の斜視図、第6図は本考案のさらに他の実施例の保持体46の斜視図、第7図は本考案の他の実施例の本体48の断面図、第8図は先行技術の斜視図、第9図は第8図に示される先行技術の一部の断面図である。

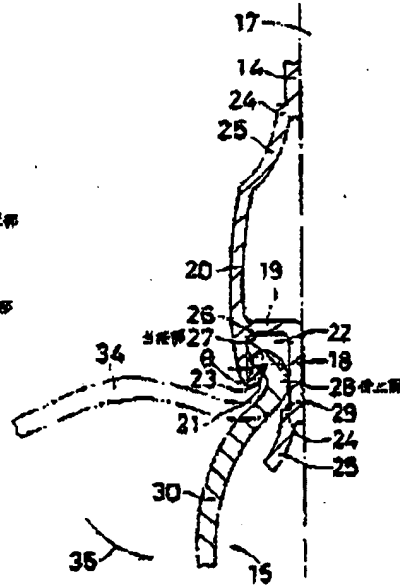
12……陳列壁体、14、48……本体、15、40、46……保持体、16……物品、18、18c……後面壁部、19、19c……連結部、20、20c……前面壁部、21……下部、22、22c……溝、23……突起、24……波部、25……傾斜部、27、27a、27b……当接部、28、28a、28b……係止部、32、32a、32b……保持部。

実開 平2-59660(2)

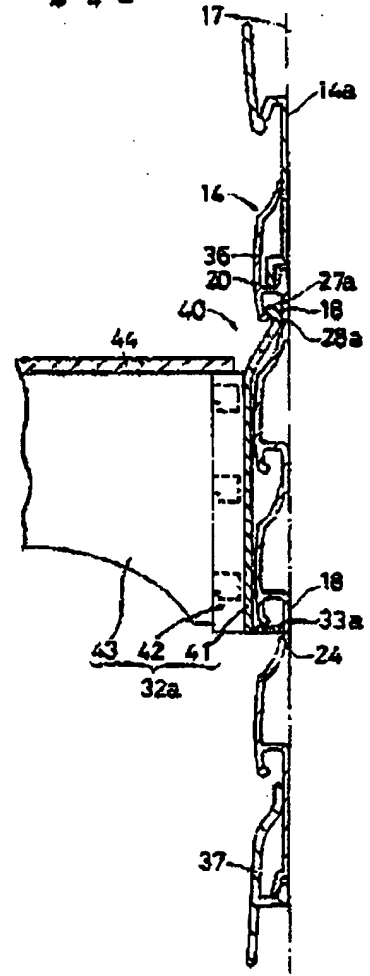
第 1 図



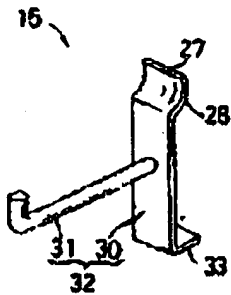
第 2 図



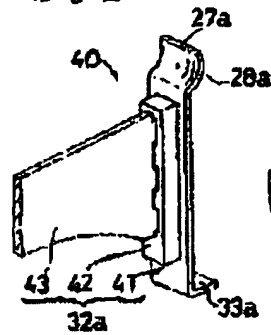
第 4 図



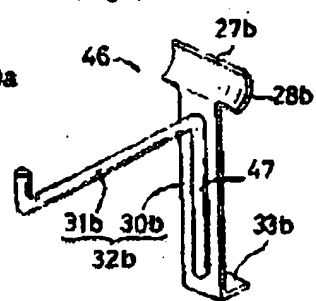
第 3 図



第 5 図

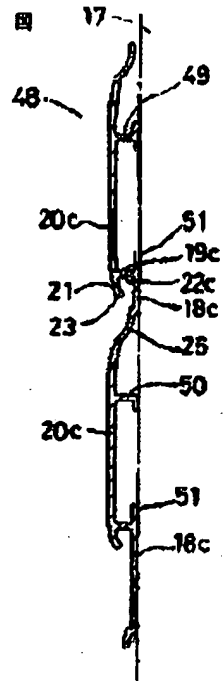


第 6 図

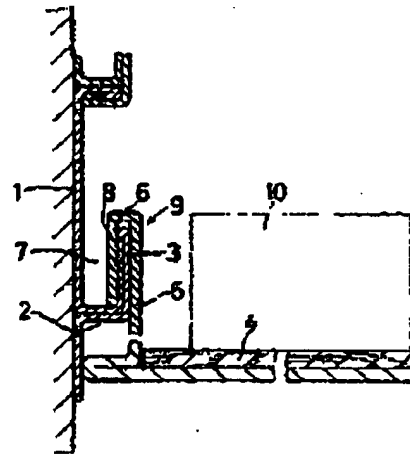


実開 平2-59660(3)

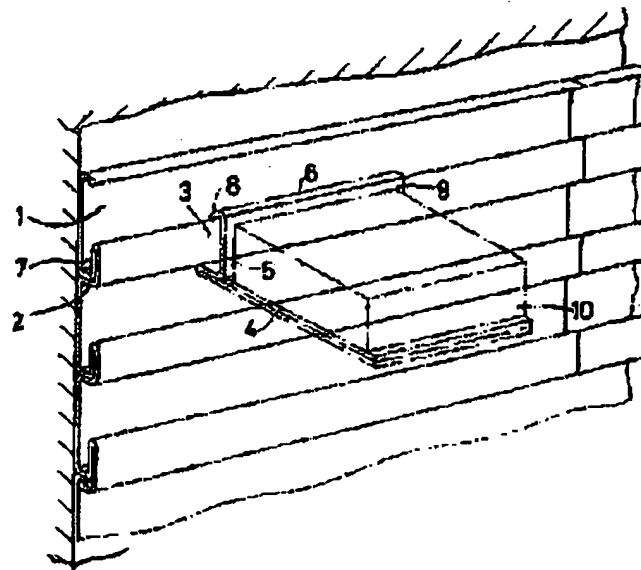
第7図



第9図



第8図



BEST AVAILABLE COPY